

別紙 審査項目

項目	審査の視点	配点
事業理解	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の目的や仕様書を踏まえ、具体的かつ確かな提案がなされているか。 ・ 各業務について具体的な実施方法が示され、実現可能な提案となっているか。 ・ 事業目的及び仕様内容を踏まえ、予算の範囲内で効果的な工夫があるか。 ・ 仕様書に記載のある内容以外の独自提案がなされているか。 	15点
事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> ・ 提案された業務を実施するための十分な人員が確保されているか。 ・ 事業の実施スケジュールが具体的に示されており、各業務について十分な期間が確保されているか。 ・ 県との連絡・協力体制が整えられており、県の意志・要望を事業に反映できる体制となっているか。 ・ 企業として個人情報保護の管理体制が整備されているか。 ・ 過去に類似業務を受託した実績があるか。また、過去の類似業務の実績から判断して、本業務の効果的な実施が期待できるか。 	20点
事業内容 (1)相談窓口	<ul style="list-style-type: none"> ・ 在留資格等、外国人材の就労に係る法律、各種制度に関する知識、経験を有するスタッフが常時配置されているか。 ・ 電話、メール以外の相談ツールを取り入れる等、県内企業が相談しやすい体制が整備されているか。 ・ 企業からのマッチング相談について、登録事業者と密に連絡を取り合い、マッチングから採用後の受入支援まで適切にサポートできる計画となっているか。 	30点
事業内容 (2)セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人材の受入れ中、または受入を検討中の事業者にとって有益なセミナー内容となっているか。 ・ 講師について、外国人材受入に関して知見のある人物を設定しているか。 ・ 県内企業と監理団体のマッチングに効果的かつ独自性のある提案がなされているか。 ・ 会場、日程、開催方法の設定は適切か。多くの集客が見込まれる周知・募集方法となっているか。 	10点
事業内容 (3)マッチングイベント	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内企業と外国人材のマッチングに効果的かつ独自性のある提案がなされているか。 ・ 国籍、業種、在留資格、学校等に偏りが生じない参加外国人材の集客方法であるか。 ・ 外国人材の雇用機会に乏しい県内企業も参加できる企業募集体制となっているか。 	10点
事業内容 (4)Webサイト ・ 広報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業について外国人材を採用したい企業に対し幅広く周知を行えるような効果的な広報手法であるか。 	5点
経済性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 企画内容に対して妥当な見積内容となっているか。 ・ 各経費について積算の根拠が示されているか。 	5点
事業者の取組 (公告日現在)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県ブライト企業の認定を受けているか。 	1点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害者支援施設等からの物品及び役務の調達実績（当該年度又は前年度）があるか。 	1点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業活動温暖化計画書制度の対象事業者（義務及び任意）、エコアクション21、RE100、再エネ100宣言REActionのいずれかの認証等を受けているか。 	1点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 森林吸収量認証書の交付実績（当該年度又は前年度）があるか。 	1点
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熊本県SDGs登録制度又はパートナーシップ構築宣言に登録しているか。 	1点
		100点